

申請先: 財団法人全国地域情報化推進協会 事務局

「公開用DB方式の統合DB製品」PF準拠確認チェックリスト

APPLIC 登録番号:  ★APPLICで記載

※赤字部分は、V2.2からV2.4の変更箇所、青字部分は、V2.4からV2.5の変更部分をしめす。

(1) 対象標準とバージョン

APPLIC-0010-2010

- ・プラットフォーム通信標準仕様V2.1
- ・アーキテクチャ標準仕様V2.1
- ・自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V2.3

(2) PF準拠確認対象製品やシステムの情報と連絡先

(a) 申請日(西暦年月日):

(b) 申請区分(新規、修正、破棄):

(c) 申請者

団体名:  ★識別キー項目1  
 団体のURL:   
 APPLIC会員番号:  (識別キー項目3つでユニークになるように申請者が指定する)

(d) 製品情報

製品説明のURL:   
 代表製品名:  ★識別キー項目2  
 複数製品で構成する場合追記:  
 複数製品で構成する場合追記:  
 複数製品で構成する場合追記:

製品識別情報(バージョン等):  ★識別キー項目3

リリース日(予定)(西暦年月日):

対応OS:

製品の形態((1)型から(3)型):

全て同一提供者  
(PF通信内部実装型)

統合DB製品  
(サービスIF処理)  
(PF通信処理)

(1)型

全て同一提供者  
(製品分離型)

統合DB製品  
(サービスIF処理)  
PF通信製品

(2)型

Y社製品を  
前提製品として申請

統合DB製品  
(サービスIF処理)  
Y社PF通信製品

(3)型

前提となるPF通信製品

前提PF通信製品名:  ※1  
 前提PF通信製品名:  ※1

※1 (2)型、(3)型の場合、既に、準拠登録申請してあるPF通信機能を実装する製品名を記載する。

(3) PF準拠確認チェック項目(準拠ルール)

※: 下記の機能が実装された製品でなく、ソリューションによる提供場合、「前提事項や制限事項」の欄にそのことを記載すること  
 ◎: 対応、○: 制約のあるもの(制約がある場合は備考欄に記載する) ↓

番号	準拠ルール (番号( CS-RXXXX)は、サービス基盤標準書に記載のある関連準拠ルールの番号)	サイト内		
		必須/ 選択	製品・ システム 確認	APPLIC 確認欄
1	「PF通信(PF通信機能)」製品 PF準拠確認チェックリストにおける準拠ルールを満たす	必須	◎	
1-1	HTTP通信(IPv4, HTTP1.1)を行えること (CS-R020001, CS-R020002)	必須	◎	
1-2	SOAP通信(SOAP1.1, document/literal, WS-I `シグナチャ` ロファイル1.0)を行えること (CS-R020003, CS-R020004)	必須	◎	
1-3	標準仕様書で定義するXMLインスタンスの形式に対応できること (CS-R032001)	必須	◎	
1-4	標準仕様書で定義するサービスインタフェース定義に対応できること (CS-R032003)	必須	◎	
1-5	PF通信標準仕様のメッセージ交換パターン1つである「リクエスト・レスポンス型同期型レスポンス」のPF通信を行えること (CS-R060002, CS-R060005, CS-R060009)	必須	◎	

【付録3】

地域情報プラットフォーム準拠確認チェックリスト：「サービス基盤」

2	アーキテクチャ標準仕様「統合DB機能」における、公開用DB方式の機能要件を満たす	必須	◎	
2-1	利用I/Fとして、1つ以上の業務ユニットインタフェース標準を実装していること（AS-R045403） ※ 下記の業務ユニットのうちインタフェース標準を実装しているものについて○を記入 （■但し、4 選挙人名簿管理、19 健康管理、20 就学、21 戸籍、51 庶務事務は、他の業務ユニットからデータ連携（SOAP呼び出し）により参照されるデータを所管しないため、対象外とする）	必須	◎	
	1 住民基本台帳	選択	○	
	2 印鑑登録	選択		
	3 外国人登録	選択		
	4 選挙人名簿管理(■)			
	5 固定資産税	選択		
	6 個人住民税	選択		
	7 法人住民税	選択		
	8 軽自動車税	選択		
	9 収滞納管理	選択		
	10 国民健康保険	選択		
	11 国民年金	選択		
	12 障害者福祉	選択		
	13 後期高齢者医療	選択		
	14 介護保険	選択	○	
	15 児童手当	選択		
	16 生活保護	選択		
	17 乳幼児医療	選択		
	18 ひとり親医療	選択		
	19 健康管理(■)			
	20 就学(■)			
	21 戸籍(■)			
	22 子ども手当	選択		
	30 住登外管理	選択	○	
	50 財務会計	選択		
	51 庶務事務(■)			
	52 人事給与	選択		
	53 文書管理	選択		
2-2	利用I/Fとして、SQLによるインタフェースを提供していること（AS-R045404）	選択	◎	
2-3	提供側業務ユニットに対し、統合DBのDB更新機能（PUSH型データ提供機能）としてSOAPまたはSQLのインタフェースを提供していること（AS-R045405）	必須	◎	
2-4	統合DBと業務ユニットの間で交換されるデータの文字コードとしてPF標準（UTF-8または16）を使用できること（AS-R045407）	選択	◎	
2-5	外字を扱えること（AS-R045408）	必須	◎	
備考欄(前提事項や制限事項)				